



新興プランテック株式会社

決算説明会資料

平成28年3月期

目次

1. 28年3月期の事業環境	3	10. 貸借対照表	12
2. 28年3月期の業績概要	4	11. キャッシュ・フロー	13
3. 受注高の工事種類別内訳	5	12. 29年3月期の事業環境の見通し概況	14
4. 完成工事高の工事種類別内訳	6	13. 29年3月期の業績見通し	15
5. 受注残高	7	14. 受注高および完成工事高の内訳	16
6. 総利益	8	15. 配当について	17
7. 営業利益	9	16. 監査等委員会設置会社への移行について	18
8. 営業外損益・経常利益	10	17. コーポレートガバナンス・コードへの対応状況について	19
9. 特別損益・当期純利益	11			

- 石油業界では、国内市場の縮小と設備過剰問題への対応を促す第二次「エネルギー供給構造高度化法」への対応の結果として、石油各社の経営統合・再編が相次ぎ公表され、国内の石油業界は大きく集約。
- 石油化学業界では、原油安を背景とする原料価格の下落や円安による高機能製品の輸出の伸びにより業績が改善し、国内エチレン設備の稼働率も高い水準を維持。

しかし、国内市場の縮小と設備過剰解消のため、エチレン設備をはじめとする過剰設備の廃止・不採算事業の撤退を進める。

- 石油・石油化学業界は、総じてメンテナンス投資や設備投資に対しては、強弱をつけた対応。
- 前期よりも増加すると見込んでいた定期修理工事の量的規模が想定ほど伸びず。
- プラント強靱化対策工事、精製能力の削減や設備廃止に伴う改造・改修工事、コンビナート連携による新投資工事、競争力のある製品生産のための新規プラント建設工事が堅調に推移。

2. 28年3月期の業績概要（連結）

（単位：百万円）

	H27.3月期	H28.3月期	前期比	増減率
受注高	86,374	92,201	+5,827	+6.7%
完成工事高	85,241	89,491	+4,249	+5.0%
総利益	8,354	10,433	+2,078	+24.9%
（率）	9.8%	11.7%	+1.9%	-
一般管理費	3,726	3,640	-86	-2.3%
（率）	4.4%	4.1%	-0.3%	-
営業利益	4,628	6,792	+2,164	+46.8%
（率）	5.4%	7.6%	+2.2%	-
経常利益	5,063	6,591	+1,528	+30.2%
（率）	5.9%	7.4%	+1.5%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,006	3,897	+890	+29.6%
（率）	3.5%	4.4%	+0.9%	-
1株当り当期純利益	65.04円	84.31円	+19.27円	+29.6%
受注残高	23,373	26,209	+2,836	+12.1%

（参考）

（単位：百万円）

期初発表値（5月8日発表）		
	差異	増減率
95,000	-2,798	-2.9%
90,000	-508	-0.6%
9,000	+1,433	+15.9%
10.0%	+1.7%	-
3,800	-159	-4.2%
4.2%	-0.1%	-
5,200	+1,592	+30.6%
5.8%	+1.8%	-
5,300	+1,291	+24.4%
5.9%	+1.5%	-
3,200	+697	+21.8%
3.6%	+0.8%	-

※上記の率は28年3月期実績値との増減比です。

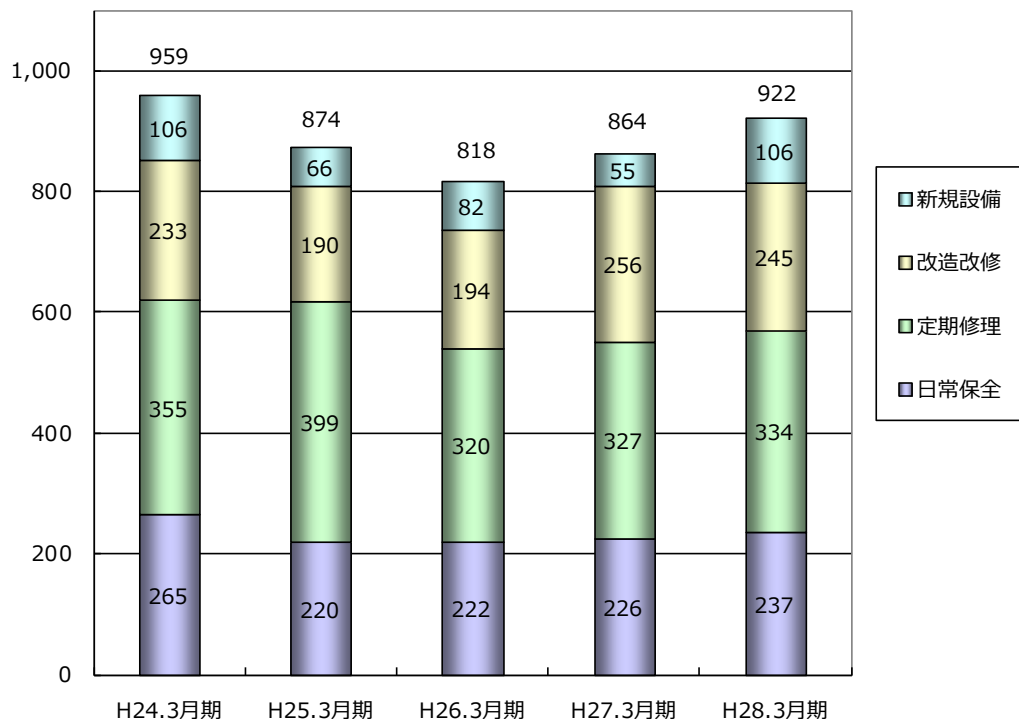
3. 受注高の工事種類別内訳（連結）

(単位：百万円)

受注高	H27.3月期	H28.3月期	前期比	増減率	11/5予想値	予想比	増減率
日常保全工事	22,563	23,718	+1,155	+5.1%	22,000	+1,718	+7.8%
定期修理工事	32,686	33,375	+689	+2.1%	34,500	-1,124	-3.3%
改造改修工事	25,580	24,459	-1,121	-4.4%	25,000	-540	-2.2%
新規設備工事	5,544	10,647	+5,103	+92.1%	13,500	-2,852	-21.1%
エンジニアリング業	86,374	92,201	+5,827	+6.7%	95,000	-2,798	-2.9%

過去5年間の受注高の推移

(億円)



- 受注高は前期比で58億2千万円の増加
予想値に対し、27億9千万円の未達

【日常保全工事】

- ① 新規参入した顧客の日常保全工事の増加
- ② 全体的な日常保全工事量の増加

【定期修理工事】

- ① 前期並みだが、予想値に対しては未達
- ② 想定した大型定期修理工事の量的規模が伸びず

【改造・改修工事】

- ① 前期並み。ほぼ予想値のとおり
- ② 過去の改造・改修工事と比べても、高い水準での数値を確保

【新規設備工事】

- ① コンビナート連携、高付加価値製品生産プラント、海外の化学製品プラント建設工事などの受注により前期比で大幅に増加
- ② 下期に予定した大型案件の失注、次期へのズレなどにより予想値に対しては未達

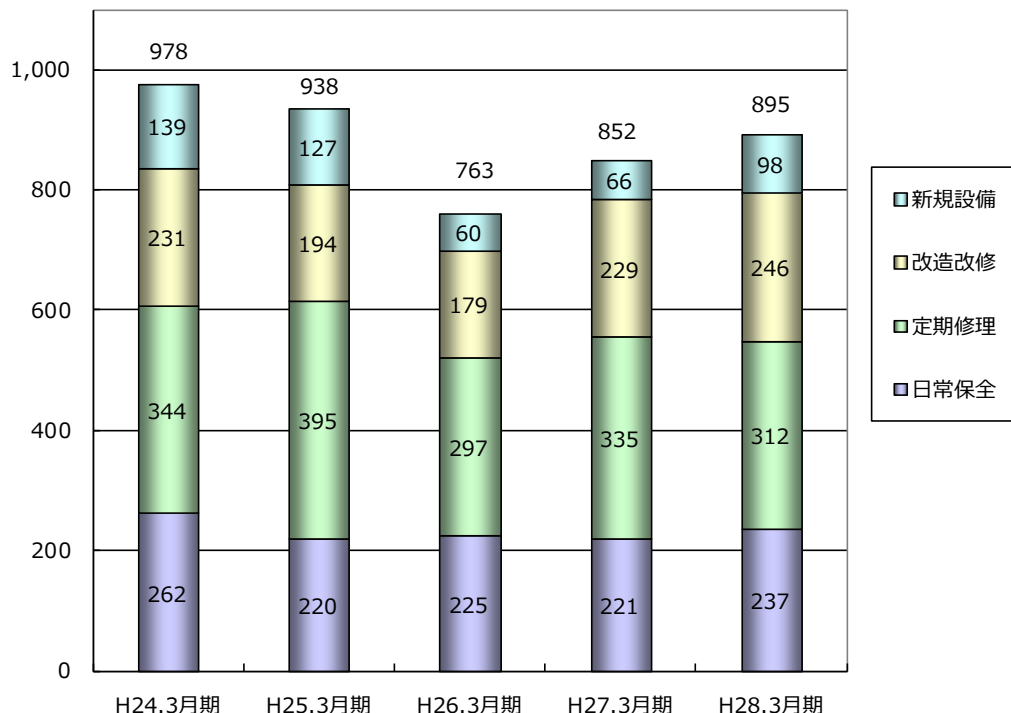
4. 完成工事高の工事種類別内訳（連結）

（単位：百万円）

完成工事高	H27.3月期	H28.3月期	前期比	増減率	11/5予想値	予想比	増減率
日常保全工事	22,107	23,695	+1,587	+7.2%	22,000	+1,695	+7.7%
定期修理工事	33,458	31,202	-2,256	-6.7%	32,500	-1,297	-4.0%
改造改修工事	22,926	24,617	+1,691	+7.4%	25,000	-382	-1.5%
新規設備工事	6,573	9,834	+3,261	+49.6%	10,300	-465	-4.5%
エンジニアリング業	85,065	89,349	+4,284	+5.0%	89,800	-450	-0.5%
その他事業	176	141	-34	-19.6%	200	-58	-29.2%
合計	85,241	89,491	+4,249	+5.0%	90,000	-508	-0.6%

（億円）

過去5年間の完成工事高の推移



● 完成工事高は前期比で42億4千万円の増加
予想値に対し、5億円の未達

【日常保全工事】

- ① 新規参入した顧客の日常保全工事の増加
- ② 全体的な日常保全工事量の増加

【定期修理工事】

- ① 前期比で減少。予想値からも減少
- ② 想定した大型定期修理工事の量的規模が伸びず

【改造・改修工事】

- ① 前期の受注残工事の完工により前期比で増加
- ② ほぼ予想値のとおり

【新規設備工事】

- ① 海外の大型工事の完工。前期比で大幅に増加
- ② 大型新規設備工事の完工、工事進行が順調に推移。
ほぼ予想値のとおり

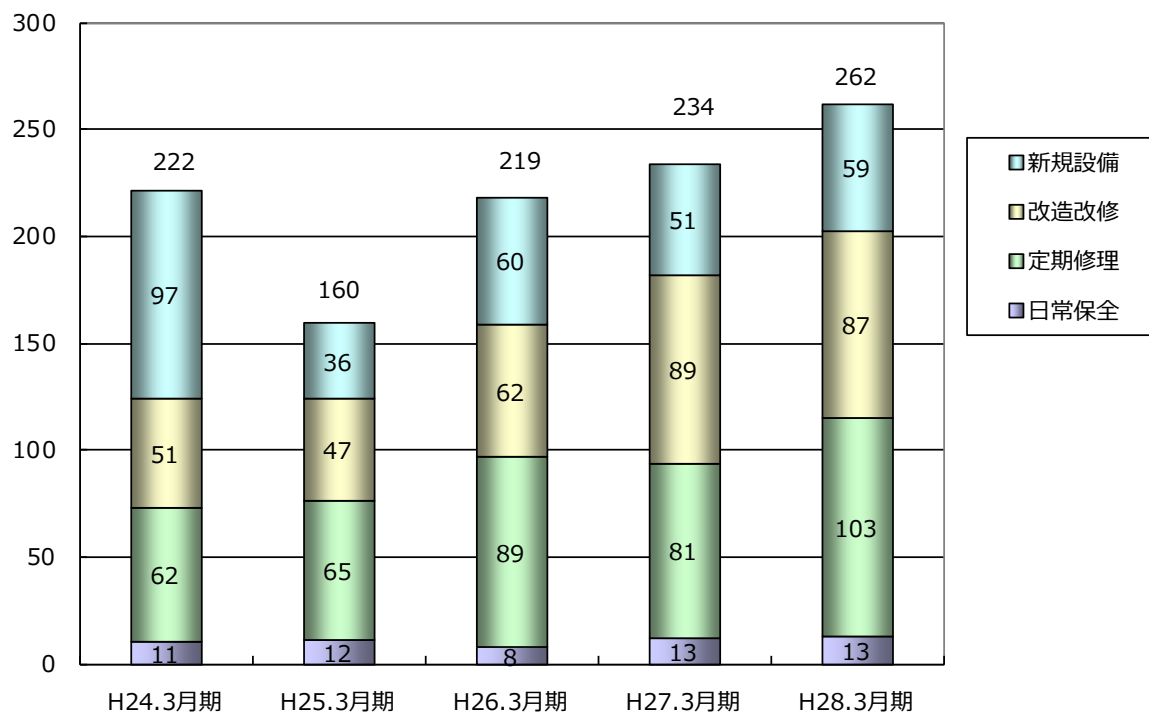
5. 受注残高（連結）

【過去5年間の受注残高の推移】

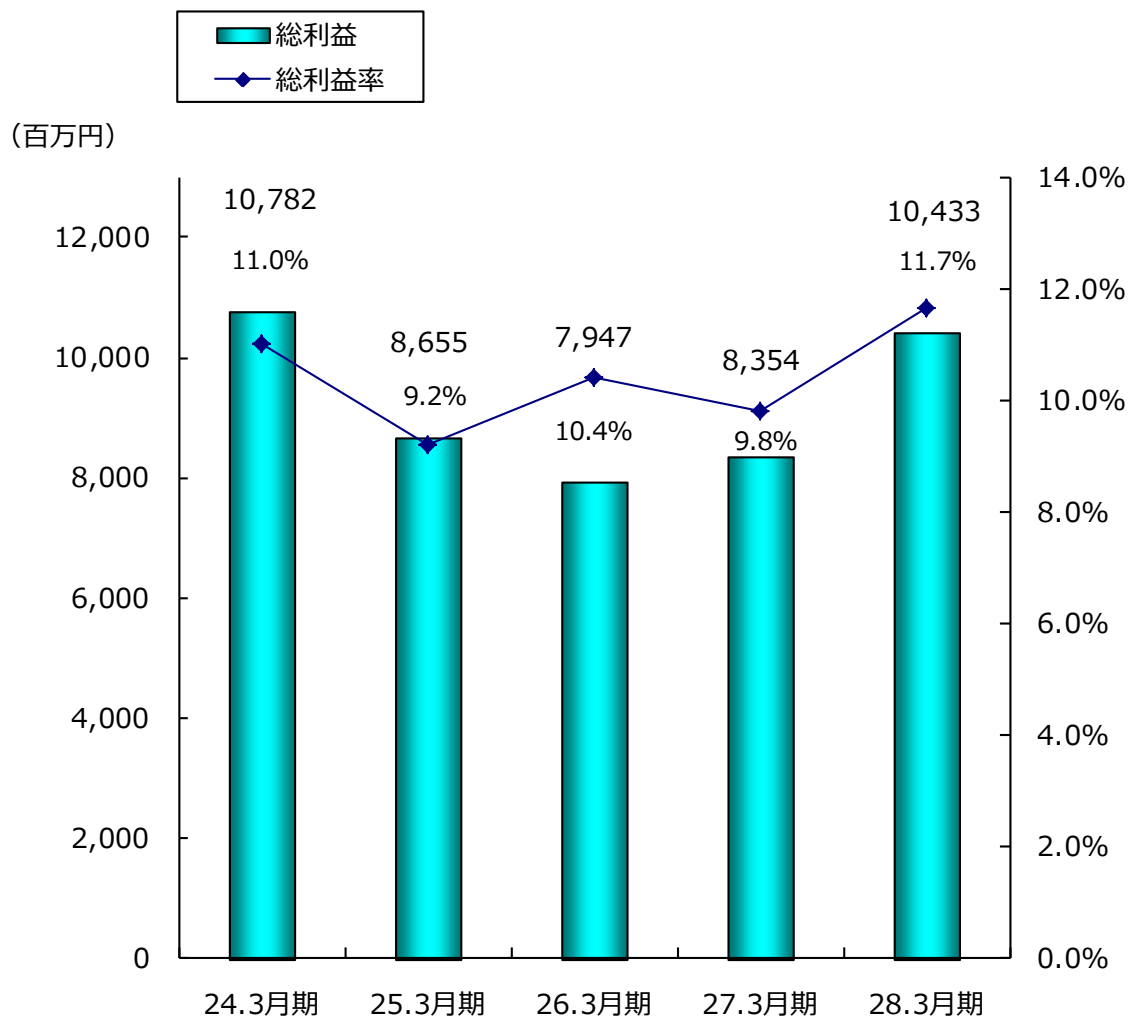
（単位：百万円）

	H24.3月期	H25.3月期	H26.3月期	H27.3月期	H28.3月期
日常保全工事	1,096	1,153	820	1,275	1,298
定期修理工事	6,219	6,542	8,876	8,104	10,277
改造改修工事	5,145	4,709	6,218	8,873	8,716
新規設備工事	9,697	3,599	5,954	5,118	5,916
合計	22,158	16,005	21,871	23,373	26,209

（億円）



6. 総利益（連結）



● 総利益は104億3千万円。前期比 24.9%の増加

● 総利益率は 9.8%から 11.7%へ1.9ポイント改善

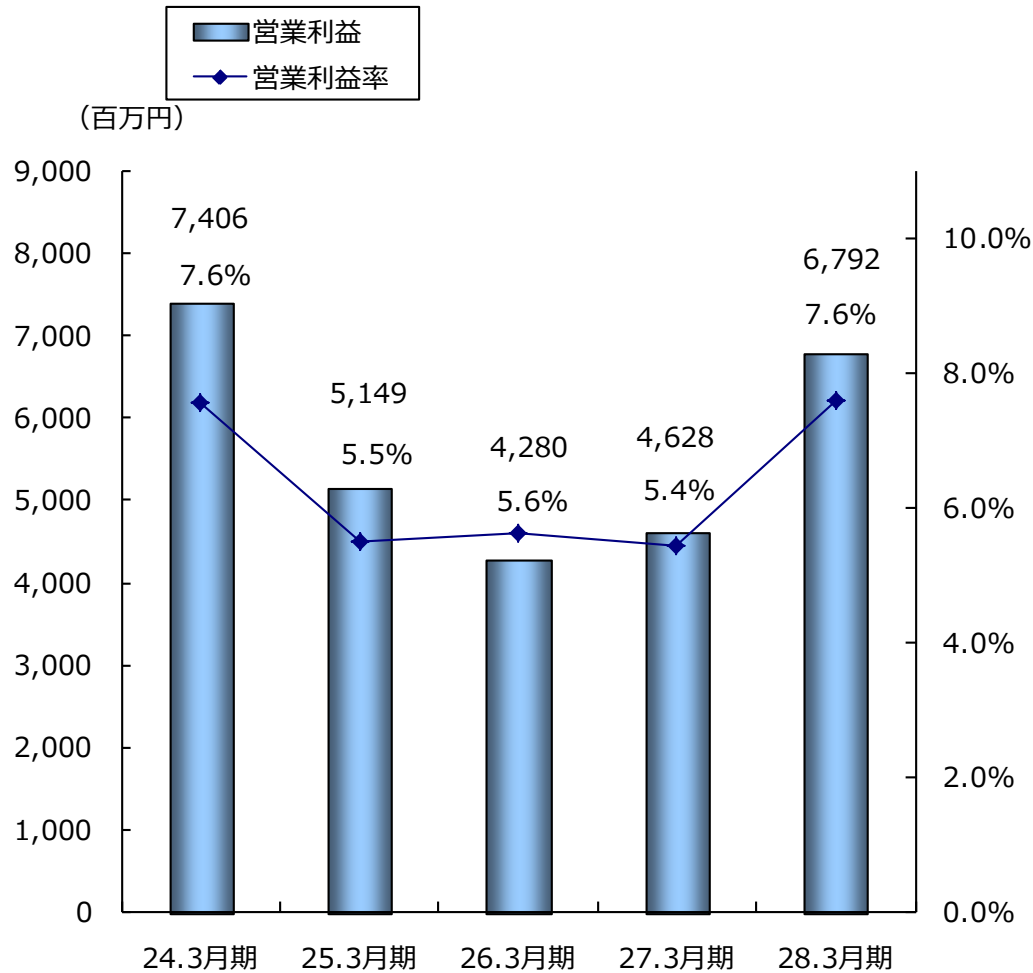
要因：

● 大型工事での社内ジョイントベンチャーによる効率的な工事管理体制の編成と収益管理の徹底

● 仕掛工事を含めた工事全体量の増加に伴う稼働率の向上

● 材料費、労務費、外注加工費などの直接コストの低減や間接費の低減による徹底したコスト削減

7. 営業利益（連結）



- 営業利益は67億9千万円。前期比46.8%の増加
- 営業利益率は5.4%から7.6%へ2.2ポイント改善
- 一般管理費はコスト圧縮により前期より減少

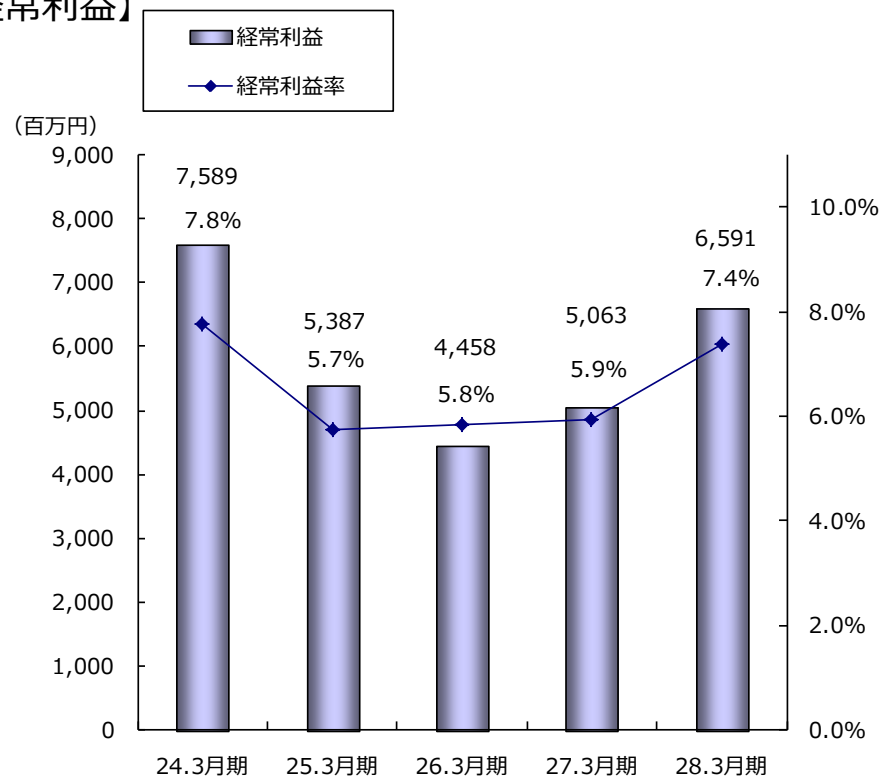
8. 営業外損益・経常利益（連結）

【営業外損益】

(単位：百万円)

	H27.3月期	H28.3月期	前期比
【営業外収益】			
受取利息	10	7	-2
受取配当金	93	93	
受取賃借料	156	143	-13
為替差益	278		-278
その他	85	31	-53
計	623	275	-347
【営業外費用】			
支払利息	25	27	+2
賃貸費用	24	17	
売上割引	93	103	+10
為替差損		299	
その他	46	28	-17
計	188	476	+288
【営業外損益】	+435	-200	-636

【経常利益】



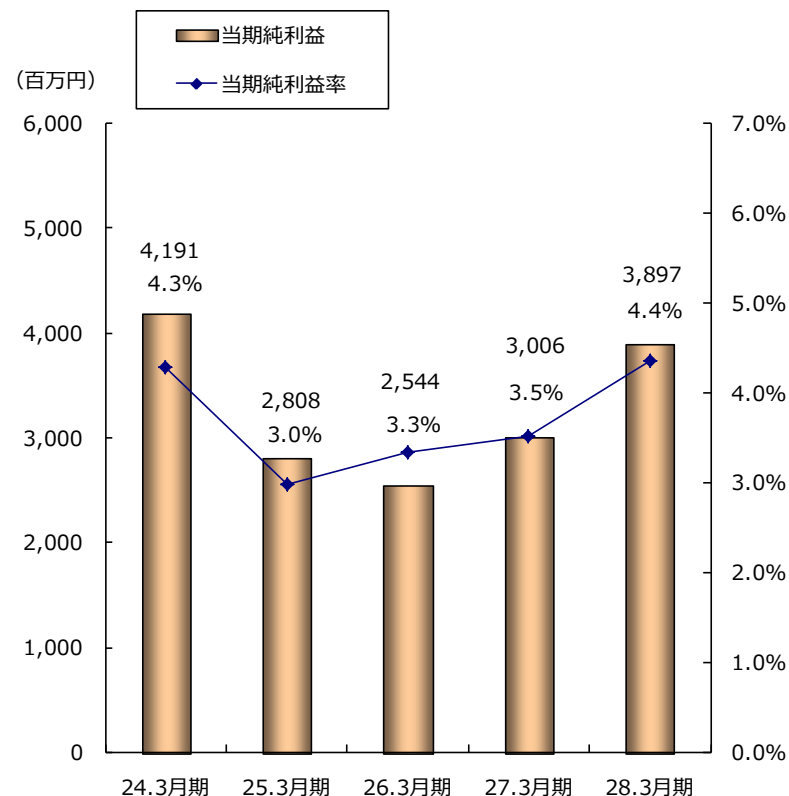
- 外貨建債権の影響により為替差損を計上
- 経常利益は65億9千万円。前期比30.2%の増加
- 経常利益率は5.9%から7.4%へ1.5ポイント改善

【特別損益】

(単位：百万円)

	H27.3月期	H28.3月期	前期比
【特別利益】			
固定資産売却益	122	0	-122
投資有価証券売却益	100		-100
計	222	0	-222
【特別損失】			
固定資産売却損	0	0	+0
固定資産除却損	2	2	+0
減損損失		135	
投資有価証券評価損		25	
ゴルフクラブ入会金評価損	3	1	-2
計	6	164	+158
【特別損益】	+216	-164	-380

【親会社株主に帰属する当期純利益】



- 売却固定資産（土地・建物）の減損処理
- 親会社株主に帰属する当期純利益は38億9千万円。
前期比29.6%の増加
- 純利益率は3.5%から4.4%へ0.9ポイント改善

10. 貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

	H27.3月期		H28.3月期		増減		H27.3月期		H28.3月期		増減
	実績	構成比	実績	構成比			実績	構成比	実績	構成比	
【流動資産】	53,089	76.7%	56,590	78.3%	+3,501	【流動負債】	31,798	46.0%	32,334	44.7%	+536
現金預金	17,325	25.0%	16,812	23.2%	-514	支払手形及び 工事未払金	24,333	35.2%	27,330	37.8%	+2,997
受取手形及び 完成工事未収入金	24,284	35.1%	28,936	40.0%	+4,653	短期借入金	486	0.7%	258	0.4%	-229
未成工事支出金	7,375	10.7%	6,875	9.5%	-500	未成工事受入金	1,814	2.6%	649	0.9%	-1,165
その他	4,103	5.9%	3,964	5.5%	-139	その他	5,163	7.5%	4,096	5.7%	-1,067
【固定資産】	16,090	23.3%	15,729	21.7%	-362	【固定負債】	1,953	2.8%	2,756	3.8%	+802
有形固定資産	11,321	16.4%	10,936	15.1%	-385	長期借入金	209	0.3%	165	0.2%	-44
無形固定資産	189	0.3%	164	0.2%	-25	退職給付引当金					+1
投資その他の資産	4,579	6.6%	4,629	6.4%	+49	退職給付に係る負債	1,424	2.1%	2,324	3.2%	+899
						その他	318	0.5%	267	0.4%	-51
						【負債合計】	33,751	48.8%	35,090	48.5%	+1,339
						【純資産】	35,428	51.2%	37,229	51.5%	+1,801
						(内 非支配株主持分)	(490)	(0.7%)	(559)	(0.8%)	+68
【資産合計】	69,180	100.0%	72,319	100.0%	+3,140	【負債・純資産合計】	69,180	100.0%	72,319	100.0%	+3,140

※ 自己資本比率 (連結)

50.7%

自己資本当期純利益率 (ROE・連結)

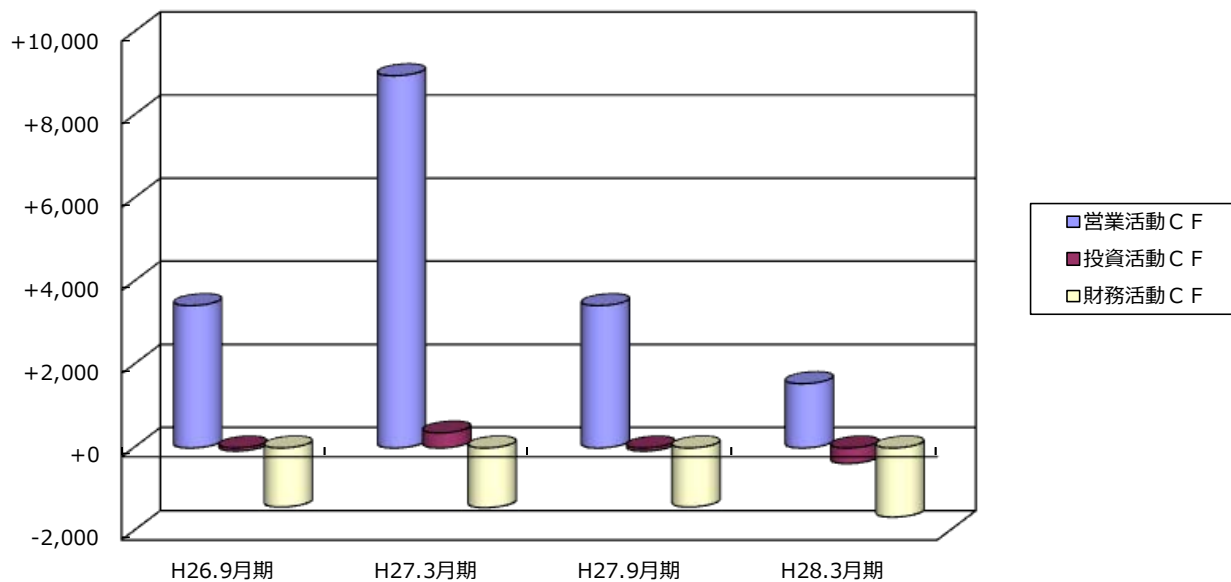
10.9%

11. キャッシュ・フロー（連結）

(単位：百万円)

	H26.9月期	H27.3月期	H27.9月期	H28.3月期
営業活動C F	+3,425	+8,958	+3,425	+1,548
投資活動C F	-75	+361	-75	-374
財務活動C F	-1,419	-1,435	-1,419	-1,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	+5	+58	+5	-28
現金及び現金同等物の増減額	+1,936	+7,943	+1,936	-517

(百万円)



- 石油・石油化学業界では、業界再編の流れの中でメンテナンス費用および設備投資に対しては、引き続き強弱をつけた対応。
- 次期（平成29年3月期）は、定期修理工事の繁忙期にあたり、平成28年3月期を上回る完成工事高を見込む。
- プラント強靱化対策工事、精製能力の削減や設備廃止に伴う改造・改修工事、コンビナート連携による新投資工事、競争力のある製品生産のための新規プラント建設工事などの受注確保に努める。

13. 29年3月期の業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	中 間 期				通 期			
	H27.9実績	H28.9予想	増減	増減率	H28.3実績	H29.3予想	増減	増減率
受 注 高	48,143	45,000	-3,143	-6.5%	92,201	88,000	-4,201	-4.6%
完 成 工 事 高	44,446	46,000	+1,553	+3.5%	89,491	93,000	+3,508	+3.9%
総 利 益	4,842	4,700	-142	-2.9%	10,433	9,450	-983	-9.4%
（率）	10.9%	10.2%	-0.7%	-	11.7%	10.2%	-1.5%	-
一 般 管 理 費	1,829	1,950	+120	+6.6%	3,640	3,850	+209	+5.8%
（率）	4.1%	4.2%	+0.1%	-	4.1%	4.1%	-	-
営 業 利 益	3,012	2,750	-262	-8.7%	6,792	5,600	-1,192	-17.6%
（率）	6.8%	6.0%	-0.8%	-	7.6%	6.0%	-1.6%	-
経 常 利 益	2,855	2,800	-55	-2.0%	6,591	5,700	-891	-13.5%
（率）	6.4%	6.1%	-0.3%	-	7.4%	6.1%	-1.3%	-
親会社株式に帰属する 当期純利益	1,613	1,600	-13	-0.9%	3,897	3,300	-597	-15.3%
（率）	3.6%	3.6%	-	-	4.4%	3.5%	-0.9%	-
1株当り当期(中間)純利益	34.91円	34.61円	-0.30円	-0.9%	84.31円	71.39円	-12.92円	-15.3%
受 注 残 高	27,130	25,309	-1,821	-6.7%	26,209	21,409	-4,800	-18.3%

14. 受注高および完成工事高の内訳（連結）

受注高

（単位：百万円）

	平成28年3月期	平成29年3月期			増減	増減率
	通期	上期	下期	通期		
日常保全工事	23,718	10,900	12,100	23,000	-718	-3.0%
定期修理工事	33,375	16,000	15,500	31,500	-1,875	-5.6%
改造改修工事	24,459	13,200	9,300	22,500	-1,959	-8.0%
新規設備工事	10,647	4,900	6,100	11,000	+353	+3.3%
エンジニアリング業	92,201	45,000	43,000	88,000	-4,201	-4.6%

完成工事高

（単位：百万円）

	平成28年3月期	平成29年3月期			増減	増減率
	通期	上期	下期	通期		
日常保全工事	23,695	10,900	12,100	23,000	-695	-2.9%
定期修理工事	31,202	19,500	19,500	39,000	+7,798	+25.0%
改造改修工事	24,617	11,800	12,700	24,500	-117	-0.5%
新規設備工事	9,834	3,700	2,600	6,300	-3,534	-35.9%
エンジニアリング業	89,349	45,900	46,900	92,800	+3,451	+3.9%
その他事業	141	100	100	200	+59	+41.8%
合計	89,491	46,000	47,000	93,000	+3,509	+3.9%

配当に関する基本認識

当社グループの事業は、石油・石油化学等のプラント関連のメンテナンスを基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。このような事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであると考えております。

配当方針

株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考えておりますが、配当の継続性および安定性という面にも充分留意した上で、30%以上の配当性向（連結）を目標としております。

平成28年3月期配当予定

- 期末配当30円

平成29年3月期配当予想

- 期末配当30円

監査等委員会設置会社へ移行

【移行の理由】

監査等委員会を設置し、監査等委員である取締役（複数の社外取締役を含む）に取締役会における議決権を付与することで取締役会の監督機能を強化し、コーポレート・ガバナンス体制の一層の充実を図るため、監査等委員会設置会社へ移行

【移行の時期】

平成 28 年 6 月 24 日開催予定の第 112 回定時株主総会において、必要な定款変更についてご承認をいただき、同日付で監査等委員会設置会社に移行する予定

コーポレートガバナンス・コード対応

エクスプレイン 7項目 (2015年10月9日公表)

①	原則1-4	いわゆる政策保有株式
②	原則3-1 (V)	経営陣幹部の個々の選任・指名理由
③	補充原則4-1③	最高経営責任者等の後継者の計画
④	補充原則4-2①	業績連動報酬、株式報酬の適切な割合設定
⑤	原則4-8	独立社外取締役の有効な活用
⑥	原則4-9	独立社外取締役の独立性判断基準及び資質
⑦	補充原則4-11③	取締役会全体の実効性の分析・評価

2016年6月公表時にはコンプライの予定

引き続き検討

この資料には、平成28年5月13日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

新興プランテック株式会社

〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地5

経営企画部 企画グループ

TEL 045-758-1953 / FAX 045-758-1999

E-MAIL : ir-info@s-plantech.co.jp

URL : <http://www.s-plantech.co.jp>